

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設及び濃縮施設の新規制基準適合性に関する面談」

2. 日時：令和3年8月30日(月) 16時00分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

#### 4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、中川上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、河原崎安全審査専門職、高梨安全審査専門職、武田安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他23名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ  
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門  
原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部  
土木建築本部 原子力土木建築部長

四国電力株式会社 原子力部 燃料技術グループ 担当

北陸電力株式会社 原子力部原子燃料技術チーム 副課長

#### 5. 要旨

本日実施した審査会合に関して、審査会合で指摘した事項に対する事業者の理解及び対応方針を確認した。

・事業者から、今後の対応方針について、以下のとおり説明があった。

- 設工認の共通事項については、先日提出したスケジュールに基づき、補足説明資料の提出及び説明を引き続き行う。
- 耐震に関する事項については、地盤モデルの設定について、第1回申請施設における解析はおおむね終了し、計算書作成に向けて最終確認を進めている。第2回以降の申請施設については、基本方針に基づいたロジックを構築し、今後説明を行う。飛来物防護ネットに関する耐震設計については、液状化の影響を考慮した解析結果を今後提示する。

作業スケジュールについては作業者と調整を行い提示する。

- 濃縮施設の保安規定変更認可申請については、指摘事項の内容を踏まえて、補正に向けてしっかりと確認していき、補足説明資料等を修正して説明する。

## 6. その他

提出資料

なし